

平成27年4月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成27年4月28日(火)

三好市教育委員会1F 中会議室

開会 午後14時00分

閉会 午後16時05分

(2) 出席委員の氏名

委員長 小松 正
委員 前川 順子
教育長 倉本 淳一

委員長職務代理者 森本 久美子
委員 谷 敏司

(3) 委員を除くほか、議場に出席した者の氏名

▼出席職員

教育次長	松丸 忠仁
学校教育課長	東口 栄二
生涯学習・スポーツ振興課長	近藤 一樹
文化財課長	中岡 久雄
教育指導主事	喜多 雅文

(4) 傍聴人

▼傍聴人

0名

◆小松委員長

ただいまの出席委員は5名であります。定足数を満たしておりますので、ただいまから平成27年三好市教育委員会4月定例委員会を開催したいと思います。

これより本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布いたしました議事日程の通りでございます。

(5) 議事録署名者の指名

森本 久美子委員

◆小松委員長

初めに議事録署名者を決定いたします。議事録署名者は例月通り、森本委員さんをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

続きまして報告事項に入ります。最初に教育長から諸般の報告をお願いします。

(6) 報告事項

◆倉本教育長

行事一覧表をご覧ください。主なものを申し上げます。

3月29日、川崎水辺の楽校完成式に出席をいたしました。これは川崎小学校の下の祖谷川の護岸工事により、地すべり防止対策と子どもたちが水辺で水遊びなどの体験できるような場所を作ったということで、その完成式への出席です。

4月1日、教職員辞令交付式、全員の教育委員さんにご出席いただきました。お世話になりました。ありがとうございました。

4月3日、県・市町村教委連絡協議会に出席をいたしました。小松委員長、事務局の職員が参りました。内容をご承知のように県教育委員会の今年度の重点施策の説明会ということでございます。

4月7日、8日にかけて入学式がありました。7日は中学校、8日幼稚園と小学校の入学式。それぞれの教育委員さんに、それぞれの学校に出席いただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。

同じく4月8日、三好市ブックスタート式を保健センターで行いました。今年度からの事業で、小さい時から本に親しませることを目的とし、1歳児未満の子どもに読み聞かせ用の本を贈呈するという事業です。

4月15日、園長・小中校長会をいたしました。新年度で三好市の重点施策や学校経営の基本的な方針を周知をいたしました。続けて、エドバイザーの会議も行いました。

4月16日、改築工事竣工式を西井川小学校で行い、委員全員の方に出席していただきました。大変厳粛かつ盛大に竣工式が開催されました。ありがとうございました。

4月22日、市町村教委連合会総会が徳島市役所でありました。小松委員長、前川委員、森本委員、事務局職員が出席をいたしました。その席で森本委員が長年勤められたということで表彰式があり、表彰者を代表して謝辞を述べられました。とても素晴らしい謝辞でした。お疲れ様でした。

行事予定ですけれども、5月8日に新居浜市で四国都市教育長連絡協議会があります。

5月9日、土曜授業が開始になります。我々事務局でも何校かまわってこようと思っております。

5月16日、土曜学習が始まります。英会話は20人の募集のところ、約30人集まり、絵画教室も20人近く集まりましたので、順調なスタートが切れるのではないかと考えております。

5月の定例会教育委員会ですが、委員長の任期、教育委員の任期の関係がありますので、5月13日15時から開催したいと思っております。

◆小松委員長

ただいまの教育長の諸般の報告に関しまして、質問、ご意見等はございませんか。

◆委員一同

ありません。

◆小松委員長

続きまして、平成27年度エドバイザーについて報告を担当課からお願いいたします。

◆東口課長

はい。4ページをお願いいたします。平成26年度と平成27年度の学校教育指導員（エドバイザー）を記載しております。岡本佳代子さんが吉岡弘恵さんに、新久保眞度さんが新居克佳さんに変ります。以上、2人名の交代があったことをご報告いたします。

◆小松委員長

何かご質問ございませんか。

◆委員一同

ありません。

◆小松委員長

報告事項については以上で終わります。次に承認事項に入ります。

(7) 承認事項

◆小松委員長

“平成27年3月臨時会及び3月定例会議録の承認について”を議題といたします。いかがですか。

◆東口課長

3月の臨時教育委員会会議録は3月の定例会教育委員会のときにお渡ししたと思います。3月定例会教育委員会会議録については、4月定例会次第と一緒に送付させていただいております。ご指摘はありませんでしたが、気づいた点等があれば訂正いたします。いかがでしょうか。

◆委員一同

ありません。

◆小松委員長

原案通りということで承認いたします。

(8) 議 案

第 1 号 平成26年度三好市教育委員会の点検・評価について

◆小松委員長

続きまして、議事に入ります。議案第1号“平成26年度三好市教育委員会の点検・評価について”を議題といたします。事前に資料を送っていただいております。

◆東口課長

“1、教育委員会の活動”、“2、教育委員会が管理執行する事務”、“3教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務”ということで送らせていただいております。1、2については平成26年度の事務局評価を記載して、色のついているところが平成25年度の教育委員会評価結果を出しております。3の教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務につきましては、平成26年度の事務局評価、平成25年度教育委員会評価、平成26年度のエドバイザー評価を記載しております。本日教育委員さんのほうで評価をいただき、議会に報告し公表したいと考えております。よろしく願いいたします。

◆小松委員長

上から項目順にいきましょうか。

◆東口課長

どうしましょうか。評価にB評価がついているところを重点的に説明するという方法で行こうかと思いますが、方法は委員さんにお任せいたします。

◆小松委員長

昨年は、“3教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務”についてはエドバイザーの評価と事務局の評価が異なる項目を見て論議したのではないかと思います。“1、教育委員会の活動”、“2、教育委員会が管理執行する事務”については項目を見ていかなければならないと思います。

◆東口課長

まず、“1、教育委員会の活動”について平成25年度がB評価、平成26年度事務局評価A評価となっております。“(1)教育委員会の会議の運営改善について”ですが、事務局評価をA評価にさせていただいた理由としまして、定例会回数は毎月1回しておりますので12回、移動教育委員会回数というのは西祖谷で開催したのを回数に入れております。以前は1つにまとめて事務局のほうで説明していたと思いますが、平成26年度より会議で委員の承認が必要な議案と報告事項、承認事項というふうに分けた形で進めさせていただいたという点を踏まえて平成26年度の評価についてA評価にさせていただきました。

◆小松委員長

ただいまの説明ですが、委員のご意見はいかがでしょう。1ページ一括で見ていくことでよろしいでしょうか。

◆森本委員

教育委員会はこの開催の仕方でいいと思いますが、この前、臨時教育委員会と1日か2日空いてまた定例会教育委員会があった時に教育長が1日にまとめて開催できたらよかったですとおっしゃっていました。

◆東口課長

臨時会ですか。

◆森本委員

はっきり覚えていませんが、1日ぐらい空いて教育委員会があったり、時間が変わったりと日程を少し考えてほしいと思いました。

◆東口課長

期間があまりにも短いところは一括でということですか。

◆森本委員

一括でしたほうがいいという時があったと思います。

◆小松委員長

前年度ではなかったでしょうか。

◆森本委員

この前あったように思います。教育長が1日にまとめたらいいと言っていたように思います。

◆東口課長

今年は臨時委員会を2回開催しています。平成26年度は、5月13日と3月10日に臨時委員会を開催しています。

◆前川委員

5月ではなかったように思いますね。つい最近だったように思います。

◆東口課長

2月の定例会が23日で遅かったのかもしれませんが。だから3月10日まで2週間くらいしかなかったように思います。

◆森本委員

これで構いませんが、日程の取り方を考えていただけたらと思います。

◆東口課長

教育委員会は基本第4火曜日ということで決めてありますが、臨時で開催しなければならない場合もあるので、できるだけ開催しなければならないというのではなく、今後は開催期間が短ければまとめて開催するようにしたいと思います。

◆谷委員

会議の運営改善については開催回数も重要なかもしれませんが、定例会後に勉強会を開くことで、内容を濃くできたと思いますので、私はA評価でいいと感じています。

◆前川委員

教育委員会と市長との連携というのは2回ぐらいありましたか。

◆東口課長

教育委員と市長との協議は1回です。4月に教育委員会で意見交換をさせていただきました。そして教育委員会事務局と市長の協議についてはこれまで3、4回くらい行っております。意見交換の中で、出された案について項目として記載させていただいております。

◆前川委員

わかりました。私もA評価でいいと思います。

◆小松委員長

それでは、総合評価はA評価ということで、項目別もA評価でよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

それでは、項目別、総合評価ともA評価といたします。

続きまして、2、教育委員会が管理執行する事務についてです。全部A評価です。

A評価にする、B評価にするではなく、各項目についてですが、昨年度は教育委員会で意思決定

が一番大きいものが土曜授業だと思いますが、土曜授業が項目として入りません。その土曜授業をどのように評価していくか、項目として入れるのであれば、1、教育委員会の活動より2、教育委員会が管理執行する事務のほうが、いろいろ決定したことなど書いてあるのでいいと思うのですが。

◆森本委員

“(6) 教育委員会規則及び規程の制定または改廃すること”の中に三好市立・小・中学校における土曜授業等の実施要綱の制定とありますが。

◆東口課長

“(6) 教育委員会規則及び規程の制定または改廃すること”のなかの土曜授業については、要綱とか、規則の制定または改正についての一覧になるので土曜授業を実施するにあたっての要綱を制定したということで“(6) 教育委員会規則及び規程の制定または改廃すること”のほうに書かせていただいております。小松委員長がおっしゃいました、教育委員会のほうで土曜授業を実施するというふうの方針を決めたということを書きとして記載するとなれば、“(1) 教育行政に関する方針等を定めること”の中に年6回の土曜授業また、長期休業の短縮を決めたという文言記載してもいいのかなと感じております。

◆小松委員長

文言を入れておいたほうがいいのではないかと思います。

◆東口課長

“(1) 教育行政に関する方針等を定めること”の実施状況に年6回の土曜授業また、長期休業の短縮という文言を入れるということによろしいでしょうか。

土曜学習の記載はどうでしょうか。

◆小松委員長

土曜学習は“3 教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務”へ記載したほうがいいのかと思いますが、どうでしょうか。

◆倉本教育長

土曜学習を入れるのであれば、土曜授業と一緒にしたほうがいいと思います。土曜授業は長期休業の短縮もあり、簡単に書いているので、土曜授業等の実施とすれば、土曜授業等及び土曜学習という文言でもいいかと思いますが。土曜授業や土曜学習は三好市教育委員会では画期的なことなので記録に残しておいてもいいと思います。

◆谷委員

各項目で実施状況をたくさん書いてもらっているのですが、この内容ではこういうことをやろうと思ったが、やり残してしまったというのがあれば教えていただきたいです。それでまた評価が変わってくるかもしれません。

◆東口課長

“3 教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務”については、こういうことについてはできましたが、まだこういった問題があるというような実施内容になっている部分があります。“3 教育委員会が管理執行する事務”については項目ごとにおいて26年度にしてきたことを書かせてもらっています。たとえば、休校、休園、廃校の承認でも、現在大野小学校などが休校のまま残っていますが、それを廃校にできなかったかというのが、評価の対象になるのかというのが難しいので、休校、休園、廃校の承認については佐野小学校、大和小学校を廃校としたということで書かせていただいております。ですので、何かできなかったというのは難しいです。

◆谷委員

廃校にしたら評価が上がり、廃校にしなかったから評価が下がるという話ではないと思います。

◆倉本教育長

評価は減点式でないで、やったけどできなかったというのと、まだしなければいけないことがあるのではないかとこのとは違うと思います。この評価はプラス思考で、これができたからA評価という書き方をしています。他の教育委員会からみたら、できていないということもたくさんある

ので評価の仕方が難しいです。

◆森本委員

これくらいのことのできて、これだったらやった内容としていいだろうという評価で、またこれからやるべきことは次の年度に行くということで、今年はこういうことができたなら A 評価、努力が足りないと思ったら B 評価ということでもいいと思います。

◆倉本教育長

ほかの教育委員会がどのような評価の付け方をしているのかわかりませんが、きっちり評価できない部分もありますので、この程度でお願いします。

◆前川委員

評価をするときはだいたい目標を決め、目標を達成できたかという計画的なところで評価し、できてなかったら反省をしてということですが、教育委員会の事務的なことは計画を立てにくいところもあるのではないのでしょうか。

◆谷委員

今教育長がおっしゃったのは、たとえばしなければならぬことが 10 項目あって、毎年進んでいく中で 3 項目ができていたら A 評価で、2 項目までできていれば B 評価といった、明確な評価をつけることが困難であるという意味ですよね。たとえ 2 項目までの達成であろうと進んで行っているのは間違いないので、進捗如何によっては A 評価であろうと問題はないと思います。

◆倉本教育長

たとえば土曜授業をやるように計画したが、反対も多くてできなかったということなら評価しやすいのですが、土曜授業ができましたということで評価しています。

◆小松委員長

だいたい過去も事務局に目標があつて、それに沿ってできていれば A 評価にしようかというふうにしてきたと思います。教育委員が見る場合は、全体的に今年の活動が活発であったかどうか、いろいろと問題があつたが、できたかどうかということで、あまり個々については一通り目を通してもらい、あまり細かいことは事務局に任せていって、全体的に活動状況がどうだったかを見ていくのがいいと思います。どうでしょうか。1、教育委員会の活動、2、教育委員会が管理執行する事務の全体の評価は A が多かったですが。

◆倉本教育長

事務局の自己評価ですから、教育委員さんから見られてこの評価は甘い、しなければならぬことができていないのではないかという指摘があれば評価が変わってくると思いますが、ポイントとしてはこういうことができて自分たちで評価したら A 評価になるという評価にしているので、それに対してどうなのだということだろうと思います。

◆谷委員

特に我々が見ていておかしいというところはありません。

◆小松委員長

“2、教育委員会が管理執行する事務”について、事務局評価どおりでよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

“3 教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務”について、エドバイザーの先生に事前に評価をしてもらっています。事務局の評価についてもすでに評価してもらっています。それぞれ項目見てもらうのと同時に、エドバイザーの評価と事務局の評価の異なるところを重点的にお願いしたいと思います。

◆近藤課長

“(3) 人権問題解決への実践化”の“③人権啓発を推進するため届ける人権教育を促進する。”とありますが、基本的に生涯学習・スポーツ振興課のほうが進めている人権教育は学校教育、社会

教育を中心として啓発活動を推進しています。人権室というのが行政のほうにあり、共催という形で事業を展開していくというところがあります。人権室の職員が現在1名です。しかし、共催という形で事業というのはお互い報告がありますが、一緒にする事業が少なかったのと、ケーブルテレビを活用した啓発運動が少なかったということでB評価になっております。しかし、人権教育で評価をつけるのが難しいのではないかと思います。目に見えて行うのが啓発活動を中心にしたものが目に見える活動であって、目に見えない活動というのもありまして、評価がしづらいという意見もありました。

◆倉本教育長

結局、人権教育したけど啓発が十分できていないというのは市民まで徹底していないという意味ですね。

◆小松委員長

人権教育については過去からあまりできていないという傾向があります。近々人権教育推進協議会などがありますが、あの場でも、もう少し活発に活動しなければならないという指摘が多いです。

◆倉本教育長

他の市町村では市の職員が個々に行って啓発活動をしていた時期もありましたが、三好市ではそこまでできていないので、レベルに評価すればA評価にはできないと思います。

◆前川委員

去年、基本計画の改正をやり直すということで、男女共同参画基本計画の委員になり、会議に参加しました。今の世の中は男女平等と考えられていますが、労働条件などを細かく見ていきますと、男女間で労働賃金に格差があると参加者の方が話していらっしやっていました。人権という言葉ひとつをとってみても、男女不平等の他に子どもの人権など多岐に渡り、範囲が広すぎて、人権活動を促進するのは難しいと思います。

◆近藤課長

以前教育委員会に勤めていた時に地域懇談会というのがあり、職員研修を充実させ、人権教育推進教育の研修会を行い、地域へ赴いて人権教育の担当の方を育成するというのもありました。人権室と合同でやっていこうという話も当時ありましたが、結局できませんでした。

◆倉本教育長

今ケーブルテレビで白血病でお子さんを亡くされた鈴木綾子さんの講演が放映されていますが、来年度は教育委員会でも1つの方法として、ケーブルテレビを活用した人権啓発を行っていこうかと考えております。

◆小松委員長

それでは、“③人権啓発を推進するため届ける人権教育を促進する。”の評価はB評価ということでもよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

このページほかの項目はA評価でよろしいですか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

次のページの“(2) 地域文化の振興・継承と文化財の保護・活用”は事務局評価、エドバイザー評価ともにA評価ですが、何かありませんか。

◆委員一同

ありません。

◆小松委員長

次のページの“③学校における芸術・文化活動を推進・奨励し、児童生徒の豊かな感性や情操を

培う。” 25年度教育委員会評価が B 評価、26年度事務局評価が A 評価となっていますがどうですか。

◆東口課長

各学校で体験授業などを実施したということで A 評価にさせていただきました。

◆小松委員長

よろしいですか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

続いて、“(3) 豊かな生涯スポーツ社会の実現”です。

◆前川委員

“(1) 三好市スポーツ振興基本計画に基づく市民スポーツ活動の充実と青少年の健全育成”の“①チャレンジデー（毎月1回）や各種スポーツ大会の競技および運営参加、観戦等を通して、市民スポーツ活動の充実と活性化を図る。”の“平成23年8月より、各課にチャレンジデー推進委員を置き、毎月のチャレンジデー参加者数を報告集計している。”とありますが、毎月1回チャレンジデーを設けることで皆さん活発に活動しているのですか。

◆近藤課長

参加者数は増えてきています。しかし地区によって参加者数は異なり、今年「健幸推進条例」ができたので、もう少し強化していこうと考えています。

◆小松委員長

“②スポーツボランティアの養成、指導者の資格取得のための支援を行うなど、スポーツ振興のための人材育成を図る。”で事務局が A 評価で、エドバイザーが B 評価となっています。

◆近藤課長

“(3) 豊かな生涯スポーツ社会の実現”の“(2)「総合型地域スポーツクラブ」の推進”の“①池田地区の総合型地域スポーツクラブの充実を図るとともに、他地域への波及や設立に向けた指導を実施する。”です。池田町以外に総合型地域スポーツクラブの設立ができておらず、人口減少に伴いリーダーがいないということで、B 評価となっております。

◆倉本教育長

体育館の照明設備の LED 化はできましたね。

◆近藤課長

できました。

◆倉本教育長

照明設備の LED 化はできたが、総合型地域スポーツクラブの設立が増やせなかったということで B 評価になったということだと思います。

“(3) 豊かな生涯スポーツ社会の実現”の項目のエドバイザー評価というのは難しく、評価しにくい部分があります。ただ、エドバイザーの中にいけだスポーツクラブの会長の新久保眞度先生がおられましたので、自らが、厳しい評価をされたのだと思います。

◆小松委員長

“(2)「総合型地域スポーツクラブ」の推進”の“③各地区のスポーツクラブや団体等の活性化を図り、ジュニア養成や青少年の健全育成に努める。”の事務局が A 評価で、エドバイザーが B 評価となっています。

◆近藤課長

昨年より今年、バスケットボールやレスリングなどの交流試合が開催できたということで A 評価にしています。

◆小松委員長

スポーツ少年団の監督など指導者を対象にした講習会は開いていますか。

◆近藤課長

昨年は開催できておりませんが、三好市主催の指導者研修会につきましては開催しております。

◆小松委員長

わかりました。今後もそういった講習会を充実させてもらいたいと思います。それでは、“(3)豊かな生涯スポーツ社会の実現”についての評価は事務局評価どおりでよろしいですか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

次のページの“(1) 地域の特性を生かした特色ある学校づくり”について事務局評価どおりでよろしいですか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

次のページの“(2)「生きる力」を育む学校教育の充実”の“(2) 豊かな心を育成する道德教育の充実”の“③早期発見、早期対応に努めるとともに、「いじめ・不登校・非行の3ゼロ」運動を展開し、子どもにとって「心の居場所」となる魅力ある学校づくりを推進する。”が事務局は A 評価でエドバイザーが B 評価となっています。

◆東口課長

“(2) 豊かな心を育成する道德教育の充実”の“③早期発見、早期対応に努めるとともに、「いじめ・不登校・非行の3ゼロ」運動を展開し、子どもにとって「心の居場所」となる魅力ある学校づくりを推進する。”ですが、生活アンケートの実施等を行いました。不登校児童生徒にはそよかぜ学級、適応指導教室を活用し、学校復帰に向けた支援を随時行ったので A 評価にさせていただきました。しかし、エドバイザーから、各学校に不登校児がいる実態があるので、原因究明や更なる連携強化に向けて対策が必要でないかという意見をいただきました。よってエドバイザー評価は B 評価となっております。

◆小松委員長

エドバイザーの意見から、事務局の見解はどうですか。

◆東口課長

確かに、各学校不登校児はいますが、不登校児に対し、いきなり学校に登校することが困難であれば、そよかぜ学級等で友達同士の付き合い方を含め、対策をしているので、事務局は A 評価でいかせていただきたいと思います。

◆小松委員長

不登校児の人数は減っていますか。

◆倉本教育長

過去 5 年間のいじめに遭った人数を言うと、21 年度に 25 人、22 年度に 19 人、23 年度に 9 人、24 年度に 15 人、25 年度に 10 人と減少傾向にはあります。しかし、26 年度上半期に小学校 19 人、中学校 37 人と増加傾向にあります。不登校児童数は 21 年度に 29 人、22 年度に 31 人、23 年度に 27 人、24 年度に 19 人、25 年度に 18 人と減少傾向にあります。しかし、26 年度 4 月から 12 月までの不登校児童数が小学校 2 人、中学校 18 人とこちらも増加傾向にあります。いじめの人数、不登校児の人数が改善されているとは言えない状況です。

◆東口課長

26 年度、各学校でいじめ基本計画を立てました。いじめ基本計画に基づき、今まで見過ごしていたいじめも含めた報告があがっているため数が増えていると思います。

◆森本委員

いじめ問題が発覚した場合、教育委員会に報告がありますか。

◆東口課長

はい。学校からある場合と、保護者から相談がある場合があります。相談については実際に教育委員会に来ていただきます。そして話を聞いたうえで、事務局が直接学校のほうに行き事実確認をしています。

◆倉本教育長

最近の事件でも、一方はいじめがあったといい、他方はいじめがなかったと言いますが、当事者からすればいじめを受けていると感じています。そこに大きな温度差があります。文部科学省がいじめの定義を“自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの”としています。当事者からすれば友達から言われた些細な一言が大きな負担になっている場合があります。しかし、先生はそのくらいでいじめではないと捉えている可能性があります。数だけで判断することはできませんが、学校がいじめと認知した数は県に報告しています。三好市では、まだ継続的に指導しているいじめもありますが、ほぼ解決しているというのが現状です。

◆小松委員長

さらに今後力を入れていじめ問題等の改善に努めていくという意味で B 評価にしますか。

◆東口課長

24 年度と 25 年度のいじめの件数が減少していたので A 評価にしていました。先ほど、いじめ基本計画ができ、学校から報告されたいじめの数が増えたといいました。実際、いじめの数も不登校児の数も減少傾向にありません。だから B 評価に変え、27 年度、改善に向けて力を入れていくようにしていきたいと思います。

◆小松委員長

“(3) たくましい体と健康づくりの推進”の“①教育活動全体を通して体力の向上に努め、運動好きの子供を育成する。”の評価が B 評価です

◆東口課長

事務局では指導のための資料や教材 DVD を購入し、各学校への貸し出しを行っていますが、利用する学校は少ないです。さらに各学校とも肥満傾向にあり、指導が十分にいきわたっていないので B 評価にしています。また、エドバイザー評価はスポーツ少年団等で活動する子どもと活動していない子どもの両極端に分かれています。そのうえ、スポーツ少年団に入っている子どもは野球なら野球、サッカーならサッカーというふうに分かれています。学校教育を通じて運動好きの子どもを育成するということが浸透していないのではないかとということで B 評価になっているようです。

◆森本委員

子どもが運動好きになるための教材というのはどういった教材ですか。学校が教材を活用する時間はありますか。

◆東口課長

体育の時間にダンスが必修化されたときに DVD を購入し、各学校に DVD の内容を公表したという経過があります。

◆森本委員

子どもが運動好きになるための教材に対しての研修環境は設けられましたか。

◆東口課長

学校教育課では、DVD の貸出し、指導のための教材は用意してありますが、学校が教材を利用しきれていません。あと、森本委員がおっしゃるような時間がないのかもわかりません。

◆前川委員

体育の中には表現運動、器械運動、ボール運動があります。器械運動であればとび箱、ボール運動であればバスケットボールなどですが、表現運動のダンスになると男の先生は研修が必要だと思います。

◆小松委員長

それでは“(3) たくましい体と健康づくりの推進”の“①教育活動全体を通して体力の向上に努め、運動好きの子供を育成する。”について、事務局評価どおりでよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

次のページ、“(3) 開かれた学校教育を支える支援体制の強化”についてです。

“(1) 地域の教育力を活用した体験学習の推進”の“②「教育の日」や「教育週間」等の各種行事を通して、学校に対する地域の理解を深め、学校支援体制の強化を図る。”でエドバイザー評価がB評価ですが。

◆東口課長

事務局では、地域住民や保護者が参加した授業、オープンスクールを実施し、地域との連携を深める開かれた学校づくりを促進しているのでA評価にしています。エドバイザーから、もう少し一般の地域住民が参加してくれるよう働きかけに工夫があってもよいという意見をいただいています。事務局はA評価でいきたいと考えています。

◆倉本教育長

先日の校長会でも地域住民の学校経営の参画を重点目標にしてほしいとお願いしました。地域住民の方もいろいろな面で手伝いをしてくれているように思います。学校支援ボランティア制度も実行できました。

◆谷委員

エドバイザーのB評価は、どちらかという学校側に対する評価だと思います。地域住民が参加していないという評価なので、教育委員会では学校に要請するようになりますかね。

◆森本委員

学校便りや実際の活動を見せてもらうと、子どもも地域の方と連携していると思います。

◆小松委員長

入学式、卒業式に出席しますと、学校評議員なども出席していただいています。そういう面では学校づくりに関係する人が行事等に参加しているように思います。

“(3) 開かれた学校教育を支える支援体制の強化”は事務局評価どおりA評価でよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

次のページ、“3・豊かな「学び」を支援する教育環境の整備充実”の“(1) 適正規模。適正配置に向けた学校統合の推進”の“(2) 小学校の統合の推進”“③統合問題については、国や県の動向を踏まえながら、慎重かつ迅速な解決を目指す。”が事務局評価、エドバイザー評価ともにB評価ですが。

◆東口課長

“(1) 適正規模。適正配置に向けた学校統合の推進”の“(2) 小学校の統合の推進”“③統合問題については、国や県の動向を踏まえながら、慎重かつ迅速な解決を目指す。”ですが、“国が公表した統廃合に関する手引き案を考慮しながらも”とありますが、三好市としてこれまで合併当時、小学校31校ありましたが、27年度小学校数は16校と減少してしまいました。いまだ小規模校があり、統廃合の問題が残されています。しかし、地域が広いので安易に統廃合をしてしまいますと、通学時間の問題が出てきます。一概に国が公表した基準の数字で図ることが難しいという問題があります。統合に関してはまだ考える余地があると思うので、B評価とさせていただきます。

◆小松委員長

この間、西井川小学校は改築工事竣工式を行ったばかりですし、他の学校も耐震工事を行ったり教育委員会が方針も出しました。なかなか国の方針通りまとめることが難しい状況です。今までの

ように地域住民の要望を全うするか、教育委員会で方針を地域に対して出していくのか、今後の課題として教育委員会で論議していく必要があると思います。

“(1) 適正規模。適正配置に向けた学校統合の推進”は原案通りでよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

“(2) 安心で安全な施設設備の整備・充実”についてです。事務局評価、エドバイザー評価ともにA評価ですがどうでしょうか。

学校から通学路の安全についてはいかがでしょうか。三野でしたら、道路の補正などの要望が出ていましたが、内容は毎年とっていますか。

◆東口課長

通学路については2、3年前に合同点検を行いました。国、県、市の道路管理者、学校、教育委員会で道路点検を行いました。また、各三好市内の小学校のすべてから通学路の地図と要注意場所を出してもらい、点検しました。ある程度学校から出していただいた要望通り国や県、市はすぐに対応していただきました。たとえば、西井川小学校でしたら、西井川小学校前のポールだけだった場所を柵に取り換え、標識なども付けていただきました。今年、国交省、警察、文部科学省で合同点検を実施するように計画しています。

◆小松委員長

何年に1回くらいしていますか。

◆東口課長

これからは2年に1回くらいということですが、今三好市で東と西にわけて1年ごとに行うことによって継続できないか、検討しています。

◆小松委員長

“(2) 安心で安全な施設設備の整備・充実”について原案通りでよろしいですか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

続きまして“(3) 情報化社会に対応した教育環境の充実”について。

◆東口課長

事務局のほうでB評価をつけている項目を説明したいと思います。

“(1) ICT教育環境の充実と活用”の“③各学校のHPを適宜更新し、さまざまな学校の情報を積極的に発信することにより、より開かれた学校づくりを推進する。”ですが、事務局としてはまだ学校ごとにホームページの更新率の差があると認識を持っています。毎日のように更新している学校もあれば、最終更新日が先月の学校もあります。三好市内の学校に指導をし、全体のレベルを上げたいと思い、B評価にさせていただいております。

続いて“(2) 教職員のICT指導力の育成及び向上”の“①ICT教育支援員を各学校に派遣し、すべての教職員が授業や校務でICTの活用が図れる能力や技術力を身につける。”についてですが、中学校のほうでICTの活用が十分に生かされていないということでB評価にさせていただきました。

◆谷委員

気になる項目があるのですが、よろしいでしょうか。“②さまざまトラブルを未然に防止するため、情報セキュリティポリシーの普及・啓発に努める。”の項目ですが、検討する必要があるのですが、A評価でよろしいですか。

◆東口課長

この項目のA評価は、三好市で初めて勤務する職員に対してセキュリティ研修を実施し、研修を受けなければパソコンが使用できないという文章を配布し、当日受けられなかった職員も後日教育

委員会でセキュリティ研修を受けていただきました。不十分ではありますが、評価の達成度として90%を達していたのでA評価にさせていただきました。

◆谷委員

1回の研修でわかりますか。

◆東口課長

その都度、学校教育課から渡せる資料があればメール等で送付もしております。ICTについては先生が使える環境を整え、支援員も派遣し校務支援もできたと考えております。

◆谷委員

わかりました。

◆小松委員長

項目とは異なりますが、個人のパソコンを使わないということは徹底していますか。持ち帰って仕事をするなどはありませんか。

◆東口課長

持ち帰って仕事をしないよう指導を行っております。

◆小松委員長

実態はどうですか。

◆松丸次長

校務では行っていないと思います。

◆前川委員

先生方は学校で行うので帰りが遅くなるとおっしゃっていました。

◆小松委員長

時々、公務員が自宅で仕事をし、メモリーを紛失してしまったということも聞きますが、大丈夫ですか。

◆松丸次長

and.Tを使うと家でできるような仕組みになっており、セキュリティもしっかりしています。

◆東口課長

“(3) 情報モラルの教育推進と青少年の保護”の“①子どもが犯罪やトラブルに巻き込まれることを防止するため、情報モラル教育の徹底を図る。”ですが、前年度もB評価でした。モラルの授業を行ってはいますが、まだ不十分であり、計画的な実施を検討する必要があるということでB評価にしています。

“③学校、家庭、関係機関の連携を深め、子どもが、普及が進むICT機器を安全に使用するための啓発活動や体制づくりを推進する。”について、エドバイザーからは家庭への啓発が必要だと思うと、子どもが長時間使用することにより学習への影響や生活習慣の乱れなどの原因を見聞きしながら進めていくべきだという意見をいただきました。

◆森本委員

この間の徳島県の教育委員会の総会の際に講師の先生がおっしゃっていましたが、学力テストの結果で徳島県は平成16年度くらいまで成績が上がっていましたが、それから今成績が下がってきているというのはICT教材がそれだけ子どもたちの学力に対して貢献しているのかどうか疑問に思います。確かにスマートフォン等の普及でスマートフォンに向かう時間が、学習時間を減らしていると思います。同じ子供で調べているわけではないので一概に言えませんが、ICT機材の導入と子どもたちの学力について考えていかなければならないと思います。

◆松丸次長

私は逆の意見にとりましたが、三好市が先行して行っていたことにほかの地域も追いついてきたので同じ学習のやり方で成績が下がってきたのかと思いました。

◆森本委員

三好市の子どもがどうかわかりませんが、以前はわからない言葉は辞書を引く一つ一つ調べていま

したが、今は電子辞書ですぐに調べられます。無回答率が高くなってきているということは面倒くさいことはやらないという傾向があると思います。

◆倉本教育長

学力テストは子どもにとっては通信簿に反映されないテストなので、いい加減な部分もあると思います。大阪市のように高校の内申に反映させるとなると必死になり、無回答も減少してくると思います。この間のエドバイザー会議でも「無回答ゼロ」「肥満児ゼロ」など目指していこうということで今後の学校訪問のときに呼びかけ、学校のほうでも考えてもらおうと思っております。

◆小松委員長

無回答というのは高校入試や大学入試のとき、難しい問題は飛ばし、できる問題から回答していくというテクニックを使います。小学生はまだそこまでの必要はないと思いますが、中学生になってくるとそういったことをしていると聞いたことがあります。

◆倉本教育長

そこをもう少し分析していかなければならないと思います。ただ、学力テストと同時に行っている学習状況調査、生活実態調査のなかで三好市の子どもたちは難しいことにチャレンジしていくということに弱い傾向にあり、今後の目標にして無回答ゼロをめざしていこうと学校にお願いしようと思っております。

◆森本委員

便利な教育ではなく、時間をかける教育も必要だと思います。

◆小松委員長

“(3) 情報化社会に対応した教育環境の充実”の項目について原案通りでよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆東口課長

変更を確認いたします。

“2、教育委員会が管理執行する事務”の“(1) 教育行政に関する方針等を定めること”実施状況に土曜授業等及び土曜学習を実施することを決定したという文言を加えることと、“3 教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務”の“(2) 「生きる力」を育む学校教育の充実”、“(2) 豊かな心を育成する道徳教育の充実”の“③早期発見、早期対応に努めるとともに、「いじめ・不登校・非行ゼロ」運動を展開し、子どもにとって「心の居場所」となる魅力ある学校づくりを推進する。”を B 評価にする、他はご承認いただいた通り事務局評価でよろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

それでは、議案第 1 号“平成 26 年度三好市教育委員会の点検・評価について”以上の内容の変更を行い決定いたします。本日の議案は以上で終わります。お疲れ様でした。

以上